

2012 年（平成 24 年）年頭にあたって

病院長 仙賀 裕

はじめに

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

年頭にあたり、一言挨拶をさせていただきます。昨年3月11日に発生した東日本大震災に被災された皆様に、あらためてお見舞い申し上げます。大震災について、どの医療施設も同様のことと思いますが、それまで当院にとって比較的平穏であった平成23年は一転して、永遠に記憶に留めなければならない年度になりました。発生時の院内での初期対応は、日頃の災害対応訓練のおかげで大きな問題点はなく、また新病院建設時に免震構造にしていたため、建物、医療機器等の損傷は皆無で、新病院建設に携わった方々に感謝しているところです。計画停電についても当院は新病院建設時に2グループから電気を受電していたため、実際の停電時間は10分程度ですみました。ただ事前のシステムの停止、紙カルテ対応などは苦慮しました。いずれにしても非常用バッテリー、非常用発電機用の重油など日頃の病院運営では目に見えないこれらの交換、補充にかなりの費用をかけていたことが幸いました。免震構造と日頃の災害訓練により機能不全に陥らなかった病院として、本年も市民、患者さんのための病院、病気になった時やケガをした時に安心して診察、治療が受けられる病院として機能



を充実させていきます。それでは昨年の病院運営の概略と今年の運営の方向性について述べます。

駅南の病院の移転による茅ヶ崎市の今後の医療情勢を考え、施設基準に合致した集中治療室(ICU)が当院には不可欠であると判断し、昨年設置工事を行いました。10月に竣工し、内覧会後準備期間を経て11月1日から正式に稼働しています。重症患者さんの集中治療、管理が容易となり治癒率も向上しました。本年も重症患者さんのためにさらにICUが有効利用できるよう機能を充実させていきます。

平成22年10月に新設したリウマチ・膠原病内科は、昨年4月から常勤医2名を迎え入院対応が可能になりました。リウマチ・膠原病で今まで他地域の医療機関に行かれていた患者さんにとって、茅ヶ崎市内で専門医による入院治療が可能になったことは大きな前進であったと思います。

また昨年はICUの工事で一部病棟を閉鎖せざるを得なかったため、閉鎖した病棟の看護師を他病棟に振り分けました。これまでの患者さん10名に対し看護師1名の体制から、手厚い看護が行えるよう患者さんに7名に対し看護

師1名の体制となったことで、入院患者さんの看護の質を向上させたと思っています。本年も7対1の看護基準を維持していく予定ですが、それには看護師の絶対数が必要です。そのために、看護教育のさらなる充実、職場環境改善、採用試験の回数を増やし、保育室の完全24時間保育化を目指します。現在は一部病棟のみで2交代勤務を実施していますが、全病棟での2交代勤務の導入、看護学生の病院実習を多く引き受けることにより、看護師の確保に努めていきます。さらに地域の医師会、行政と連携をとりながら看護学生の育成に力を入れていきますので宜しくお願いします。

よく世間で言われる勤務医不足は、首都圏の病院では特定の科を除き、徐々に解消されつつあると思います。当院の常勤医師数87人、初期研修医数14人、医師総数101人は401床の病院としては充実しています。本年も当院ではいくつかの診療科で増員の予定です。

地域医療支援病院については、昨年は地域の医療機関、茅ヶ崎市立病院登録医の諸先生方と協力しながら、急性期治療を終えた患者さんが安心して自宅や施設に戻れるような対応をさらに進めました。その結果、認定基準をクリアしたため、神奈川県に認定申請をしました。本年早々には認可される予定です。これにより急病の患者さんが、かかりつけ医、登録医、他の医療機関などから当院を紹介され受診した後は、円滑にかかりつけ医、登録医、他の医療機関のもとに戻れるようになります。また、本年は糖尿病の地域連携を重点的に進めていきますので、ご

期待のほど宜しくお願いします。

病院機能評価については、昨年2月に認定更新されました。病院組織の運営と地域における役割、患者さんの権利と医療の質および安全の確保、療養環境と患者サービス、医療提供の組織と運営、医療の質と安全のためのケアプロセス（医療・看護の提供される課程）、病院運営管理の合理性などが評価されたものです。

本年は年明けから一階の薬剤部門の機能を一部地下に移します。内装工事が必要になりますが、空けたスペースを患者さんの相談業務、登録医との連携業務等に使い、地域医療連携室の機能充実を図っていきます。

毎年書きますが、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、臨床工学技士、理学・作業療法士、言語聴覚士、医療専門の事務等、総数500人近く、非常勤も含めれば700人近い専門集団は茅ヶ崎市民の貴重な財産です。茅ヶ崎市民としてその財産をうまく運用して行きたいと思っています。本年もすべての職種で優秀な人材を採用して行きたいと考えています。

おわりに

癌治療の充実、周産期医療の充実、救急医療体制の拡充、災害時医療の日頃の準備、市民の健康管理への対応、安全管理への個々の職員、病院全体の心構えなどをより充実させて行きます。その中で、休日のみしか診療していない茅ヶ崎市地域医療センターについての今後の方向性について、医師会、茅ヶ崎市と協議を進め、一次救急としての急患センターの機能強化を強力に後押しして行きたいと考えています。本年もご支援宜しくお願いします。